



南九州市

議会だより

—MINAMIKYUSHUCITY—

第55号

令和3年
8月5日



「川の生き物調査隊(大丸小学校児童)」

【目次】

6月補正予算	P2
財産の処分等	P5
条例・請願	P6
臨時議会・人事案件	P7

一般質問	P8
市民の声	P16

企業立地推進事業費

一般会計補正額 ▲1482万円

などを補正 6月定例会

補正後予算総額 235億6420万円

6月定例会は、6月22日から7月2日までの11日間の会期で開催されました。補正予算をはじめ、条例の一部改正などが審議され、議案12件、発案2件を可決。請願1件を採択しました。

一般会計の主な補正

総務費

企業立地推進事業費

1875万円

旧手糞小学校に企業を誘致することに伴う、小学校跡地の整備等に要する経費を計上するもの。

事業の内容

○プール・幼稚園の園舎

等の解体・整地

○記念碑等の移設

○工事車両等の搬入に伴う

う里道拡幅工事など

電算費

114万円

市内3地域の文化会館のホール及び会議室にウェブ会議環境を構築する経費を計上するもの。

放送整備施設費

220万円

自治会の放送施設が、落雷により復旧不能となったため、設備更新に対する補助金を計上するもの。

委員会から

問 この事業を進めるにあたって、落雷等の原因に対応する保険があるのか。

答 保険の加入や業者と年間での保守委託を契約するかなども含め、

委員会から

落雷等の自然災害に備え、補助要件等の検討や各自自治会での保険加入、積立金等の説明を行うことが大事である。

自治会の判断になっている。今後、放送設備を設置する自治会に対しては、保険や更新にかかる積立金等の説明も含め事業推進を図っていく。



解体予定のプール



解体予定の園舎



会議中

委員会から

問 ウェブ環境を整えた後、会議室等の使用料に影響があるか。

答 使用料、運営なども含め、文化会館の関係部署と協議していく予定である。



自治会放送施設

民生費

児童手当支給事業費

2991万円

新型コロナウイルス感染症対策の影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を支給する子育て世帯支援特別給付金を計上するもの。

放課後児童対策事業費

620万円

学童保育事業を実施する保育所等の施設において、事業を継続的にできるように職員が感染症対策を実施していくための必要経費や、マスク、消毒液等の購入経費を計上するもの。

○利用定員19人以下

30万円2か所

○利用定員20人以上59人以下

40万円14か所

衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

1111万円

国の方針変更に伴い、コールセンターの職員を増員し、接種の進行を早めるとともに、今後の若い世代の予約をウェブシステムで行えるよう整備する経費を計上するもの。

教育費

空調設備移設工事費

1354万円

普通教室新設等により、知覧小学校他2校の空調設備設置にかかる経費を計上するもの。

委員会から

問 移設と新設設置の場合との費用対効果は。

答 閉校となった学校の空調設備は、平成31年の国の交付金事業で設置しているため有効利用により移設する事とした。

委員会から

問 近隣市においては、当初からウェブシステムによりワクチン接種予約を行っているが、本市が行わなかった理由は。

答 利用者の希望する日時や医療機関の提供、キャンセル発生時の対応等を考慮すると、ウェブ予約システムは、本市のシステムに補完的に運用することで、利便性と効率的な接種が進められる。



学童の感染症対策



小学校空調設備移設



農林水産業費

団体営調査設計事業費

210万円

川辺地域神殿地区上里池の、ため池ハザードマップを作成する経費を計上するもの。

～委員から～

問 他のため池ハザードマップの作成状況は。
答 本市には、防災重点ため池が12か所あり、昨年度までに7か所の作成を完了し、本年度は4か所の作成を予定している。

～委員会から～

12か所のため池には、危険な場所もあるので、危険を知らせる看板設置を要望する。



ため池

林業振興費

229万円

農政関係費

120万円

林務行政を円滑に遂行するため、国の制度を活用し、新たに地域林政アドバイザーを雇用する経費を計上するもの。

～委員から～

問 地域林政アドバイザーの業務内容は。
答 当初は伐採届の担当、その後経営管理推進事業や森林管理についての意向調査を行う。

～委員会から～

本建物のトイレには、段差があるので、事故等が発生しないように段差解消も行うよう要望する。

新型コロナウイルス感染症予防及び感染拡大防止のため、知覧特攻博物館のトイレ改修に要する経費を計上するもの。

土木費

特殊地下壕対策事業費

520万円

知覧地域飯野自治会内に2か所の地下壕があり、市道の下にあることから市道陥没による事故防止のため、充填工事を行う経費を計上するもの。

商工費

観光施設管理費

300万円

西郷邸藤棚公園の園路改修、防根対策等。園路にクラック、凹凸が確認され危険なことから、園路の舗装等を行う経費を計上するもの。

～委員会から～

園路改修後は、さまざまなイベント等に活用できるよう要望する。



地下壕



藤棚道路

南九州市名誉市民の功績碑の建立

南九州市名誉市民赤崎勇氏の逝去に伴い、南九州市民条例の規定により功績碑を建てることについて議決された。



南九州名誉市民決定日
平成29年11月22日

功績碑設置場所

南九州市役所知覧庁舎前庭敷地内

名誉市民の選定理由

南九州市知覧町出身で、高輝度青色発光ダイオード（青色LED）を世界で初めて開発し、実用化の道を開いた功績が認められ2014年ノーベル物理学賞を受賞した。

財産の処分

旧手養小学校の財産処分に伴い、当該財産活用が見込まれる株式会社イースト朝日へ譲渡するもの。

処分予定価格

・土地 16,026,202円
・建物 無償

処分予定年月日

令和4年3月31日

処分の相手方

鹿児島市南栄3丁目30番地7
株式会社イースト朝日
代表取締役 東垂水 正昭



～委員から～

問 プールの今後と地域との共有部分について。
答 プールは危険なため解体予定。地域との共有部分は文化祭等、駐車場が必要な場合は校庭を使用させてもらう事になっている。

訴えの提起〈可決〉

国民健康保険療養費の不正受給に伴い、損害賠償金の請求に関することについて訴えるもの。

相手方：粟ヶ窪 政文
損害賠償金：11,366,561円

問 何年にわたる不正受給か。
答 平成19年10月から令和2年12月診療分で13年3か月。

問 13年3か月におよぶが、時効は。
答 今回の件は、顧問弁護士によると20年分は可能であるとのことである。

問 不正受給が発覚した経緯は。
答 レセプト点検により、かなりの日数で施術を受けているのを確認したため、調査を行い発見した。

問 今後の対応は。
答 連続あるいは頻回の施術について、一定の基準を設けて抽出し、書面で照会して施術の状況を聞き取る。回答により必要があれば対面調査を行い、このようなことが無いよう抑制を図っていく。

財産の無償貸付

旧青戸中学校の有効かつ効率的な管理運営を行うため、当該財産の建物等を無償貸付するもの。

貸付予定価格

・土地 2,441,470円（年額）
・建物 無償

貸付期間

令和3年8月1日～令和13年7月31日

貸付の相手先

鹿児島市田上7丁目1番6号
中小企業地域振興事業協同組合
代表理事 岩崎 誠



～委員から～

問 貸付のための校舎等の修繕費について。
答 自然災害や経年劣化による修繕は市が行う。修繕費が20万円以下のものは企業側負担契約とする。なお、消防設備と建物火災保険は市が負担する。

4月28日臨時議会を開催

補正
予算

新型コロナウイルス感染症対策事業費
3億515万円を可決

商工総務費
1億1074万円



地域経済の活性化のため
・プレミアム付商品券事業
・雇用継続支援金、事業維持支援金
・漁業者支援補助金、中小企業支援補助金 等々

賛成討論:

プレミアム付商品券事業では、商品券がスムーズに市民の手に渡り、消費拡大のきっかけとなることを期待する。

商工費

災害対策費
287万円



災害時の学校体育館避難所に、停電発生時対応の発電機を設置

問 設置場所と台数は。
答 市内3中学校と6小学校(川辺・勝目・知覧・中福良・別府・九玉)合計9台を設置

消防費

主な補正内容

農業委員会費
4000万円

農業収入が20%以上減少した農家の農地賃借料に対する補助
※賃借料の30%(上限10万円)

農林水産業費

予防費
306万円

行政検査の対象外となるPCR検査に対する一部助成(7割補助)
※上限額(高齢者等2万円、その他の方々1万円)

衛生費

問 無料で実施する考えはないか。
答 行政検査への影響を考慮し、考えていない。

毎年3月31日までに固定資産の価格を決定するものとされており、その決定を補助するため評価及び評価調書を作成するが固定資産評価員の職務で、条例で一人と定めています。
前任者の解任に伴い、地方税法第404条第2項の規定により、南九州市固定資産評価員に選任されました。

江平 恒博 氏
副市長
知覧町 郡



◆固定資産評価員◆

人事案件

条例の制定・改正

南九州市固定資産評価審査委員会条例
及び南九州市職員の服務の宣誓に関する
条例の一部改正

固定資産評価審査委員会審査申出人等から出される書類等の押印を不要とするもの。
職員の服務の際に宣誓書の押印を廃止し対面による宣誓を不要とするもの。

南九州市印鑑条例の一部改正

印鑑登録の登録事項から性別欄を削除し、それに伴い印鑑登録証明書においても性別欄を削除するもの。

南九州市ひとり親家庭等医療費助成に
関する条例の一部改正

低所得の子育て世帯に対し、食事等による支出の増加を勘案し、児童一人当たり5万円の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外のその他世帯分)を支給するもの。



請 願

義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを
はかるため、2022年度政府予算案に関する意見書採
択を求める請願書

〈採択〉

請 願 者: 松下 浩一
紹介議員: 川畑 実道

※ 請願が採択され、追加議案で意見書を内閣総理大臣等に提出することに決定しました。

◎ 意見書

義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを
はかるための、2022年度政府予算に係る意見書

発 委

南九州市議会会議規則の一部を改正する規則

提出者: 議会運営委員会
委員長: 吉永 賢三

議会における本会議及び委員会への欠席事由等の明文化と請願者の押印義務を廃止するもの。

議会を傍聴してみませんか

次の議会は8月31日(火)開会予定

“手続き簡単” 本館2階で住所・氏名を書くだけ(マスク着用)

9月定例会

8月31日	本会議(開会)	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
9月1日	本会議	一般質問
2日	本会議	一般質問
3日	常任委員会	補正予算等審査
13日	本会議	補正予算等採決・決算認定の委員会付託
14日	決算特別委員会	認定審査
15日	決算特別委員会	認定審査
16日	決算特別委員会	認定審査
10月1日	本会議(閉会)	決算認定採決

◆議会中継◆ インターネット配信または各支所ロビーでご覧いただけます。

議会の録画中継

市ホームページよりスマホ・パソコンで視聴できます。
※ただし、議会当日の3日後くらいからの配信となります。



市民の声を行政に問う

一般質問 15人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

見出しの下に動画視聴のためのQRコードを掲載しています。スマートフォン等でQRコードを読み取ると一般質問の録画映像がご覧いただけます。



大倉野 忠浩 議員

職員の資質向上

市外から通勤している職員の実態は

市長／できる限り本市に居住するよう指導していく



と本市に居住してもらいたいのが、市外居住を認めないことは、憲法が保障する居住の自由を制限することから、市外からの通勤を認めざるを得ない。できる限り本市に居住するよう指導していく。



窓口対応

支所機能のあり方について
市長／さらに充実させる。

大倉野 支所の市民サービスが低下しないよう具体的な方策を検討しているか。

市長 新庁舎建設となつた場合、顕娃庁舎、川辺庁舎において、本課職員で対応している窓口業務について、支所に担当する職員を配置する検討を進めている。また、支所職員を増員し、予算も持たせ、支所でも対応できることはすぐに対処できるよう支所長権限を強化した支所の体制づくりを考えている。

小学校再編

小学校の統合の考えはないか



教育長／基本方針により再編は進められている



取違 博文 議員

の小学校とする考えはないか。

教育長 南九州市立小

取違 複式学級がある小学校の統合を進める考えはないか。

教育長 令和元年9月に「南九州市立小学校のあり方に関する基本方針」が決定された。基本方針には、小学校の適正規模、適正配置に向けての基本的配慮事項等が示されており、小学校の再編はこれにより進められている。保護者や地域の総意に基づいて再編を望む場合は、基本的配慮事項に沿って進めている。

取違 3地域に各1校

教育長 現時点では、小中一貫教育の導



複式学級授業の様子

助成

高齢者への補聴器購入助成を



市長／国の施策や県内の動向を注視し検討する



内園 知恵子 議員

災害などの緊急放送などに気づけない等不便も起きている。聴覚機能の低下の高齢者に対し、補聴器購入助成制度を創設する考えはないか。

市長 聴覚障害による認知機能低下予防の研究が国により進められており、その結果や県内市町村の動向を注視しながら検討する。

中高年のひきこもりの把握・対策は

市長／実態把握は今から。

内園 80歳代の親が50歳代のひきこもりの子を世話する「8050問題」、親が施設に入所したり、亡くなつたりすると、ひきこもりの中高年の子どもが困窮や死に追い詰められ、深刻な事態が広がっている。本市では中高年のひきこもりがどのくらいいるのか問う。

市長 ひきこもり実態は、南九州市内全体は把握できていない。7月に民生委員へ依頼し、情報提供を求め、把握に努める。



その他の質問
・人口減少対策
・高齢者の健康増進

農業振興

お茶の取引価格向上 対策は



市長／生産技術の高度化と茶業経営の
体質強化を図る



市長 肥培管理や被覆の有無、摘む時期や位置の深さ、茶工場での製造機械や品種の違いなどの要因が考えられる。今後、市場性の低い品種や老木の改植を進め、品質の高位平準化に務める。

上赤 本年の

取引価格の状況を問う。

市長 一番茶

の荒茶生産額は前年比107.4%の62億4900万円、2番茶も価格が持ち直している。

上赤 ニーズ

にあった良質な茶の生産・製造・経費の削減等を図る対策を問う。



夏は冷茶で！！



アグリランドえい

職員採用試験に、地元高校卒業生枠を設ける考えはないか

市長／限定した採用枠を設ける予定はない

上赤

地元高校卒業生枠を設けることにより、

入学希望者が増え、人口減少対策に繋がればと考えるが。

市長 市外高校への進学や大学生との公平性を確保する必要がある。

その他の質問

・組織体制について
・施設管理について

本庁舎移転

知覧庁舎の活用と知覧まち
商店街の活性化策は



市長／広く市民より意見を伺う



鯨島 信行 議員

知覧まち活性化のために何か活用できるのではないかと。ねぶたの展示、体験型観光施設、本市の特産品販売（ふるさと納税返

礼品等）の物産館、さらには観光案内所、知覧商工会、特産品協会、観光協会などの事務所として利用できないか。

市長 新庁舎建設基本構想・基本計画策定業務のなかの市民アンケートやワークショップ・パブリックコメントなどで、広く市民より意見を伺う。

鯨島

新庁舎が完成し、移転した場合、知覧まちの往来が少なくなり、買い物客が減り、商店街が衰退すると考える。知覧まち商店街の活性化策があるのか。

市長

地元商店街及び地域住民の意見を聞きながら、観光事業や地域の活性化につながるよう検討する。

鯨島

知覧庁舎は平成25く26年に耐震補強工事をしていて、新庁舎が完成した時は解体するとのことであるが、解体せずに知



知覧まち商店街

いじめ・不登校

各学校の実態と対応は



教育長／軽微なものも見逃さないよう指導している



川畑 実道 議員

組織的な対応がなされるよう指導している。

川畑

不登校の現状と支援策は。

教育長

不登校については、近年、増加傾向にあり、昨年度の不登校児童生

徒の人数は43人である。市教育委員会としては、適応指導教室による学習支援や子ども相談センターによる相談業務を実施するとともに、顕娃・知覧・川辺地域にそれぞれ教育相談員とスクールソーシャルワーカーを配置し、支援体制の充実に努めている。

その他の質問

・顕娃運動公園内のプール跡地の活用
・文化財の個人所有地

支援策は

サツマイモ基腐病が発生した
際の防除などの支援策を問う



市長／さつまいも農家の令和3年産への継続栽培支援を実施



西山 一 議員

れた「アミスター20フロアブル」をはじめ予防及び治療効果のある薬剤の購入に対しての補助対象となったところである。本年も梅雨入りが早く圃場では一部さつまいも基

腐病の発生も確認されているので、今後も発病抑制や防除対策について農家への情報提供を行うとともに、国・県の支援策を有効的に活用してさつまいも生産農家の支援を行っていきたいと考えている。

その他の質問

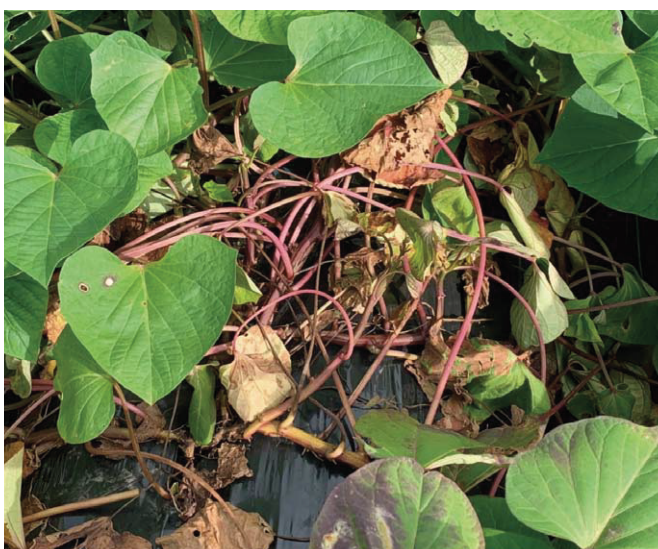
・顕娃農業開発研修センターの活用について
・お茶の振興策について

西山

サツマイモ基腐病が発生した際の支援策は。

市長

本市においては令和2年産の国・県の補助事業である「かんしょ重要病害虫被害対策事業」や「土づくり展開事業」を活用して、消毒用薬剤・予防薬剤の購入やたい肥散布による土づくりの支援を行い、さつまいも農家の令和3年産への継続栽培支援を実施したところである。また、本年5月には、さつまいも基腐病に対して農業登録さ



サツマイモ基腐病

川畑 いじめの実態は。
教育長 いじめの認知件数は年々増加傾向にあり、昨年度の本市小中学校における認知件数は157件であった。
川畑 実態把握の調査方法は。
教育長 各学校に対し、日常の観察をはじめ、定期的な教育相談やアンケート調査を実施している。
川畑 調査後の対応は。
教育長 いじめを発見した場合はもとより、いじめが疑われる場合についても、校長を中心とした組



研修会の様子

感染対策

ワクチン接種の実施状況と今後の計画は



市長／65歳以上の高齢者は
7月末までに終了予定



吉永 賢三 議員

吉永 ワクチン接種の実施状況と今後の計画は。

市長 ワクチン接種については、南薩医師会と連携を図り市内医療機関で個別接種を進めている。予約方法は、専用電話の受付で予約のできる医療機関と日時を案内し、1回目と2回目を同時にできる。FAXまたは庁舎での仮受付も実施し電話での混雑を緩和できるよう努めている。接種券は、年齢層の高い方から順次発送し65歳以上は、6月

末までに終了予定である。
吉永 集団接種に取り組む考えは。
市長 副反応に対する医療体制等が難しいので考えていない。
吉永 今後のワクチン接種の計画は。

市長 12歳から64歳までの方の接種について同様のペースで接種が進めば、年内には希望する方の接種が完了する見込みである。

吉永 6月補正予算にウェブ予約システム導入が計上されている。県等の予約システムと同様のやり方なのか。

市長 市独自の予約システムである。高齢者の予約がある程度進み64歳以下の接種券発送から、ウェブ予約を導入することによりさらに接種状況が進むと考えられる。



非接触型体温計

子育て支援

就学援助の新入学前支給を



教育長／新入学用品費の支給は、令和4年度からの実施を検討



大倉野 由美子 議員

隣市の実施と市の財政状況を考慮して子育て支援の充実をはかる。
新庁舎建設計画の取組
は
市長／市民アンケートとワークシヨップの実施を予定している。

大倉野 就学援助の小学校入学生の入学支援金を入学前支給に改善が求められるが対策を問う。
教育長 就学援助の小学新入学準備金はこれまで7月に支給していたが、入学前支給を令和4年度の新入学生から実施を検討する。

大倉野 現在の総合庁舎方式から本庁方式への移行方針について市民の理解をどのように図るのか。

市長 4月の行政説明会で自治会長、公民館長へ新庁舎建設の経緯、理由、推進体制の説明を行い、市ホームページや広報紙の配布。市民説明会の中止後に市民へはパンフ

大倉野 子供医療費助成の対象を18歳まで拡大する考えはないか。
市長 医療費助成は本年4月から18歳まで住民税非課税世帯は無料。今後高校生の医療費の状況近



ランドセル

レットを配布。8月ごろ市民アンケートと9月頃にワークシヨップの実施を予定している。
大倉野 現在の3庁職員体制と新庁舎移行後の職員体制・員数を問う。
市長 現在、職員体制は知覧庁舎に212人、額娃庁舎に112人、川辺庁舎に141人。その他出先施設に183人で総数648人の配置です。
新庁舎建設後は、定員適正化計画に基づき新庁舎機能・支所業務の内容で必要人数を設定する。

その他の質問

・新型コロナウイルス感染症対策
・公営住宅

消防団員の報酬等

年額報酬・出勤費用弁償の現状を問う



市長／財政負担も踏まえ検討を
考えている



菊永 忠行 議員

菊永 総務省消防庁の通知で、消防団員の出勤報酬月額8,000円とあるが、本市の報酬出勤費用弁償の現状を問う。

市長 本市消防団においては、強い責任感を持って、市民の生命・身体・財産を守るため日夜献身的な活動を続けてきており大変感謝している。消防団員の報酬・出勤費用弁償については、市報酬及び費用弁償に関する条例で額が定められており、年報酬が、48,000円と標準額を上回っているが、出勤費用



消防団辞令交付式

弁償として災害・警戒・訓練が1回あたり4,000円

円となっており、年々団員確保が難しくなる状況下において、加入しやすい環境づくりは、重要なことであると考える。出勤報酬については消防庁の指導のもとに、団員の活動状況のほか他市の動向や財政負担も踏まえ検討をする。

黒木山太陽光発電所

最大の設置目的は、また、答弁が一夜で違ったのか



市長／目的は公共施設への利用など、答弁は何も違ってない



竹迫 毅 議員

竹迫 今までの説明では、公共施設に使用して余った分を売電するとの説明であったと思っている。

先の臨時議会で太陽光発電関係補正予算案に対して、減額修正動議の提案理由説明で「売電だけでなく、周辺施設への送電による電気料の節約を見込んでいる」とあったが、執行部の説明と違うのではないか。

市長 議員が言うところである。目的は公共施設への電力の供給により、電気代の削減が目的で、余剰



三本松工業団地（額娃）に設置の太陽光発電所

が出たら売電したい、あくまでも売電目的でないと言うことである。
竹迫 同僚議員がSNSで、一般質問で同僚議員には「スケジュールを含め見直したい」と答弁し、私

の質問には「やりとげた」と答弁していることについて、一夜にしてひっくり返ったとあるが、私は質問内容が違うのだから答弁が違うのは当然だと思いがどうか。

市長 前日と1日後の私の答弁は違っているとは思っていない。条件が違ってくれば、計画を変更することもあると答弁した。竹迫議員にはこの事業をやり遂げたいと答弁した。

市役所新庁舎建設検討

現庁舎の長寿命化改修と新庁舎建設、コストの比較試算は



市長／試算は考えていない



日置 友幸 議員

日置 現在の知覧庁舎を長寿命化改修した場合と、新庁舎を建設する場合の初期費用から維持管理コストを含めた試算・比較は行っているのか。

市長 本庁に組織と人員を集約していくことが必要だと判断した。多くの時間と経費が必要な大規模改修経費の詳細な試算は考えていない。
日置 試算無しでは主観の話になる。「現庁舎がまだ使えるのでは」という市民からの疑問に対して理解が得られるのか。

人口減少対策

課題解決に向けた取組みと今後の対策は



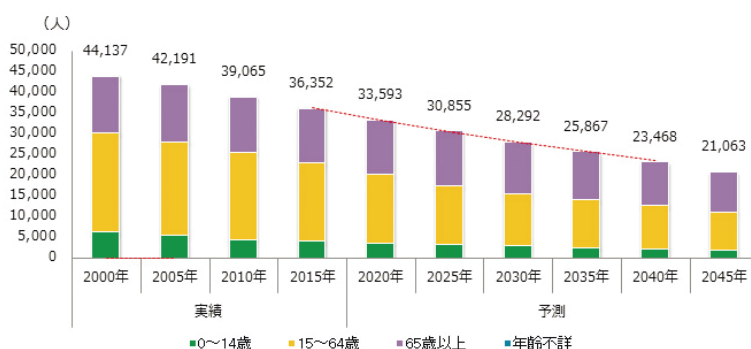
市長／多数のプロジェクト事業を実施し、今後も各種施策の充実を図る



西 次雄 議員

を実施している。今後も引き続き各種対策の充実を図りながら対策に取り組む。
西 現在新庁舎建設計画があるが、移住定住対策

西 本市の人口も他市と同様に減少の一途をたどっており、毎年600人ほど減少している。
人口減少はあらゆる産業にも影響が及んで、地域では空き家が増加し、自治会の運営にも支障が出ている。これまでの取組みと今後の対策を問う。
市長 人口減少を抑制するために多様な施策や事業に取り組んでおり、市、市内金融機関及び民間団体により地方創生プロジェクトチームを結成し、多数のプロジェクト事業



南九州市人口推移

に投資するべきであると考え。川辺町仁之野地区は鹿児島市に近く人口が増加していることから宅地を造成して人口増を図る考えはないか。
市長 市として宅地造成は難しい。

その他の質問
・SDGs(持続可能な開発目標)の本市の取組について

コロナ禍の観光形態

実績と今後の進め方は



市長／新しい観光需要へ対応できる準備を進める



山下 つきみ 議員

山下 施政方針で、ポストコロナ社会を見据えた重点施策に、新しい観光形態の可能性を模索するとあるが、どのように進めていくのか。

きる準備を進めている。
山下 ワークション事業実施の具体的な内容は、岩屋公園のほぼ全域で可能な通信環境の整備や、さくらの館二階に会議室として活用する備品整備、またモニターツアー等企画し、情報発信していく。
山下 ワークション

巡回バスによるコロナワクチン接種を行う考えは
市長／実施は難しいと考える
山下 交通弱者や今後接種年齢を下げていく中で、感染防止の観点から不特定多数の人が利用される医療機関だけでなく、移動式集団接種を行う考えはないか。

市長 医師会と具体的な協議はなされていないが、集団接種の安全性について懸案事項を完全に払拭出来ず、実施を見送った経緯がある。今後の接種状況によつては検討もありうるが、実施は難しいと考える。

教育問題

教科書の選定は



教育長／法令に基づき適切に採択



浜田 茂久 議員

浜田 中学校教科書の歴史記述に対する認識と

健全な教育の提供に対する取組について問う。
市長 教科書採択については、法令に基づき教育委員会において、適切に対応されていると認識する。健全な教育の提供については「読書を通して子どもたちの健全育成を図りたい」という市校長会、教育委員会の思いに接し、今

世界の記憶登録推進と平和教育への活用は
市長／登録は慎重に検討し、知覧特攻平和会館の利用を情報発信する

後の読書活動の広がりを目指すし、その推進に努める。
教育長 教科書については、「正確かつ公正であり、多面的・総合的な配慮がなされているかなどの観点から検討がなされ、適正に採択されていると考える。

浜田 「知覧からの手紙」の世界の記憶への登録の推進とともに、子どもたちへの平和教育への活用について問う。

市長 長期的視野で資料を後世に残すための保存・調査研究を進め、登録申請については慎重に検討を行っていく。

平和教育に関し、今後も県内外の学校等に対し、学習の一環として知覧特攻平和会館を利用していただくよう情報発信に努める。



ワークションができる岩屋公園内施設

※ワークションとは、観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方



学校教育風景



浮邊妙子

【中絶】

ご縁があり、気が付けば知覧町浮辺に移り住んで人生の半分が過ぎ、自治会と地区公民館の書記（事務）を務めさせて頂いて十八年目に入りました。

自治会では、「十五夜祭り（ソラヨイ）」等の各種行事や運営等、地域住民の皆さんと共に活動。地区公民館では、生涯学習・公民館講座や社会教育活動を通して沢山の方々と出会い、関わり、つながりを持ち、多くの事を学ばせていただきました。このことは何にも

代えがたい財産となりました。そのお陰で今の自分があると感謝しています。

少子高齢化のこのご時世にもれず、ここ浮辺小学校も、とうとう令和五年三月で廃校する事となりました。まだ「新型コロナウイルス感染症」となる。そのような新しい分野が広がり、新しい風がながれることによって国際色豊かな「小学校・デメリットが少しでもメ

リットに改善されていけばとも考えます。

南九州市の自然や住みよかつた。廃校となると今までのような活気がなくなるのではと寂しくなりま

又、JAの事業改革が進み店舗は近い将来廃止となり、浮辺にあった唯一のお店も残念なことに消えてなくなります。

「少子高齢化・人口減少」による財政難という

ればと考えます。

コロナや災害等が重なることで、競い合う時代は終わり、みんなが協力し合うコミュニケーションが大事なのでは。と、「将来は、コロナや災害で困っている人に家具付きのアパートを安い家賃で貸してあげたり、お年寄りには梅干しのおにぎりを届けてあげたり、人に喜ばれる仕事をしたいな。」という将来の夢を子ども心ながらに語ってくれる孫の言葉によって感じています。



新型コロナウイルス感染症予防については、手洗い、アルコールによる手指消毒、マスクの着用など、終息の見えない中、感染防止に取り組んでいます。

現在、高齢者から順次年令を下げてワクチン接種が行われていることから収束の起爆剤となることを願っています。これから、マスクの着用は必要不可欠であると考えます。

最近、前歯を抜歯して義歯が出来上がるまでの間、他人前での会話は恥かしいとの思いがありました。が、マスクが心配を解消してくれました。

（米満）

▼広報編集委員会

委員長 米満 孝二
副委員長 内園知恵子
委員 西山 一
取違 博文
上赤 秀人
山下つきみ



◎発行：鹿児島県南九州市議会

◎編集：議会広報編集委員会

◎発行責任者：加治佐 民生

TEL 0993(83)2511

FAX 0993(83)4658

ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp>